

本校の中学部入試では、独創力や発想力、社会的な問題に対して興味関心を持ち、自分の意見を論理的に「書ける」生徒を求めています。２０２０年度には大学入試改革を控えており、各教科で求められる力もより一層変わってることが予想されます。こうした情勢を踏まえ、本校では２０２０年度入試より国語の出題傾向を一部変更致します。

< 従来の出題傾向 >

- 一 漢字 書き １５問
- 二 漢字 読み １０問
- 三 語句 ５問
- 四 作文 時事問題 ２００字以上３００字以内

< ２０２０年度入試からの出題傾向 >

- 一 説明文 読解（漢字語句問題を含む）
- 二 出題した説明文に関しての意見文 ２００字以上３００字程度  
（※試験時間の変更はありません。）

情報化社会が到来し、常に情報と共存していかなければならない今日、自らの力で情報を読み取り、取捨選択する能力が求められます。さらに社会で生きると、ある問題に対して意見を求められたり、データを比較してその違いを述べたり、建設的に批判したりする場面に直面します。ただ情報を「読む」、物事を「考える」だけでは不十分なのです。情報と主体的に関わり、読む・考えることだけにとどまらず、さらに深化させ「書くこと」「話すこと」を通して自ら発信していかなければなりません。

本校では自分の考えを論理的に「発信できる」生徒の育成を目標としていきます。そのために２０２０年度入試より、国語の入学試験では国語の基礎基本にあたる「書くこと」「読むこと」「考えること」の３つを柱として出題していきます。

一では、一般的な説明文を出題しますが、選択問題だけではなく記述式の問題も出題し、内容理解の確認を行います。

二では、一で出題した説明文の内容に関連した意見文を出題し、文章の構成力や論理性を判断します。